

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名, 政策体系, 予算科目, 事業区分, 担当, and 法令根拠. It details the project '高齡者福祉の推進' under the '総合計画の施策名' and provides budget and execution period information.

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with two columns: ①事務事業の概要(事務事業の全体像) and ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. It describes the goal of distributing gift certificates to elderly citizens and the specific procedures for list creation and distribution.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table showing performance indicators for 28-32 fiscal years. It includes metrics for ①手段 (活動指標), ②対象 (対象指標), and ③意図 (成果指標), such as the number of gift certificates distributed and the usage rate.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing the trend of input volume (costs) from 28 to 30 fiscal years. It breaks down costs by category (e.g., 国庫支出金, 事業費計) and includes personnel costs.

Table comparing actual performance (実績) for 29 fiscal years with the budget (予算) for 30 fiscal years. It lists costs for '報償費' and '委託料'.

(4) 当該年度の実施内容

Table for implementation content for 30, 31, and 32 fiscal years. It includes a note that the main activities are listed on the right side of the page.

事務事業名	敬老事業	事務事業No.	10601000007	所属課	高齢福祉課
-------	------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 多年にわたり社会に貢献してこられた高齢者の長寿を祝福しようと合併以前から行っていた事業である。平成18年度から贈呈品を敬老商品券とし統一を図った。また、合併前は各町村で敬老会式典を行っていたが、合併後は交通・会場等の問題もあり行革の一環として廃止した。平成25年度までは一律に商品券を配布していたが、平成26年度より節目の年齢のみ配布するようにしくみを変更した。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 平成26年度はしくみの変更に関する問い合わせが多く寄せられたが、平成27年度以降は特に大きな混乱はない。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高齢者の生きがいにつながっている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 敬老の日に労をねぎらい、感謝することは、高齢者福祉の向上に結びつくので妥当である。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 平成26年度より支給対象者を変更したため、現状水準は維持するべきである。しかし、今後の人口推移によっては将来的に検討が必要である。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 対象となる高齢者からの本事業への期待が大きいため、廃止（休止）すべきではない。
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 平成26年度より支給対象者を変更したため、現在のところ削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 長期的視点で判断すると年齢到達者が対象となるため、公平・公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括（振り返り、反省点） 平成26年度より支給対象者の見直しを図り、事業に対する市民意識は定着してきた。商品券利用の店舗については、今まで大型商業施設の使用率が大半であったが、小売店が利用特典を付けたことにより、小売店での使用率が上がった。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○	×																			
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																							
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A:継続（現状維持） C:終了、廃止、休止 B:継続（改革改善を行う） D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合） 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---